

令和4年度 第7回 藤沢市市民活動推進委員会 議事録

1 日時

2022年(令和4年)10月8日(土) 午後1時 ~ 午後2時25分

2 場所

藤沢市役所本庁舎5階5-1会議室

3 出席者

(1) 委員 6人

坂井副委員長、細沼委員、入内島委員、西上委員、大場委員、豊福委員

(2) プレゼンテーション参加団体 1事業(2団体)

- ・みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南
- ・藤沢市子育て企画課

(3) 市側 6人

平井部長、日原参事、森主幹、一瀬上級主査、緒方専任主査、川島主任

(4) 協働コーディネーター 堀氏

4 議題

令和4年度ミライカナエル活動サポート事業(協働コース)の審査選考(二次審査)

(1) プレゼンテーション(公開)

(2) 審査選考(非公開)

5 開催概要

開会

藤沢市市民活動推進委員会

○事務局の平井部長より冒頭に挨拶が行われた。

(坂井副委員長) ただいまから令和4年度第7回藤沢市市民活動推進委員会を開会いたします。初めに、委員会の成立要件について事務局よりお願いします。

○事務局より成立要件について説明が行われた。

(坂井副委員長) それでは、本日は協働コースのプレゼンテーション審査となりますので、この後の進行につきましては、細沼部会長にお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

協働コース審査選考部会

(細沼部会長) それでは、協働コース審査選考部会を開会いたします。

プレゼンテーションに先立ちまして、本日、審査に当たる委員を紹介させていただきます。順番に自己紹介をお願いいたします。

○各委員より自己紹介が行われた。

(細沼部会長) また、本日は、大場委員、豊福委員がオブザーバーとして出席されております。よろしくお願いいたします。

それでは、事務局より、資料確認及び本日の日程等について説明をお願いします。

○事務局より、資料確認及び日程等について、説明が行われた。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

(1) プレゼンテーション

①みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南／藤沢市子育て企画課

(細沼部会長) それでは、大変お待たせいたしました。これよりプレゼンテーションを行っていただきます。

「みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南」、「藤沢市子育て企画課」の皆さん、子どもの居場所スタートアップサポート事業について、発表をお願いいたします。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) 皆さん、こんにちは。今ご紹介いただきました「れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南」代表の鈴木と申します。

今回、協働相手としましては藤沢市の子育て企画課さんをお願いしておりますので、一言ご挨拶いただこうと思います。

(藤沢市子育て企画課) 子育て企画課の高田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

(藤沢市子育て企画課) 子育て企画課の中野と申します。よろしくお願いいたします。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) これより、市民の家を利用した子どもの居場所スタートアップサポート事業についてご説明させていただきます。

まず初めに、1点修正があるんですけども、お手元のミライカナエル活動サポート事業の資料を1枚めくっていただいて、最初のエントリーシートのところですが、事業総予算額が今、**259**万円になっております。その後、予算の内訳の修正がございまして、**258万8600**円に数字が変わっておりますので、修正をお願いいたします。

では、早速内容に入らせていただきます。

私たちの団体「れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南」は、私を初め5名で運営しております。このうち2名が現場で実際に子どもたちとかかわっております、ほかの3名は事務ですとか、アドバイスという形でかかわっていただいております。

代表の私の自己紹介を簡単にさせていただきますと、**2019**年より「レインボースマイル湘南」という屋号で、個人事業主として子育て支援などを行っております。用田に住んでおまして、自身も高校2年生と二十歳の息子を育てるシングルマザーです。いわゆる相対的貧困の当事者という枠にも入るので、そういった当事者の目線も持って活動している形となります。

現在、藤沢市子ども子育て会議の市民委員ですとか、青少年指導員、小中学校の学校運営協議員など、地域活動のほうもありまして、子どもたちは義務教育を終わったんですけども、現在の小中学生、**18**歳未満の子どもたちの援助なども積極的にするような活動をしている形です。

そういったPTAの活動を通して、子育ての課題の奥には大人たちの課題があることですか、そういった課題はあるけれども相談できない現状、相談に対するハードルの高さ、そういうのも日々感じています。相談窓口に行くのはとても深刻な状況になってからで、それよりもっと前のちょっと違和感を感じたとか、もやもやしたとか、そういう声を拾えないかということで、今の活動を始めた形となります。

また、そこから先の大きな目標としては、自死を防いで命を守りたいという思いを持って活動しております、これまでもいじめ防止プログラムですとか、人権などやコミ

コミュニケーションということ伝えていましたので、人権やコミュニケーションや性教育などを柱に命を守る活動をしているところです。

そういった経緯がありまして、現在藤沢市の北部で3カ所、子どもと大人の居場所を運営しております。

1つが長後れいんぼ〜かふえ、こちらは2020年11月にスタートしましたので、間もなく2年になります。こちらは長後食堂さんをお借りしてやっているんですけども、午前中はアロマのワークショップ、午後はみんなの自習室という形で、特に年代を区切らず活動しています。

アロマのワークショップにつきましては、先ほどの相談に対するハードルの高さを下げるために、何か手作業をしながら悩みをこぼす。最近、こういうことで困っているという声を拾いたいと思って始めました。うれしい誤算としましては、最初は保護者の方を対象としていたんですけども、保護者の方が来て、次に親子で来て、子どもたちがお友達を誘ってきてという形で、思春期の子どもたちとつながるきっかけにもなっています。

みんなの自習室につきましても、先ほど、我が家も相対的貧困の当事者だと申し上げたんですが、私の息子が予備校などに通ってなくて、自習室が欲しい。南部の子どもは市役所などが使えると思うんですが、北部には無料で使える自習室がなかなかないということで、じゃそういうニーズがほかにもあるかもしれないので、借りて始めようかという形で始まりました。

そういった活動をしている中で、長後食堂は、ご存じの方もいると思うんですが、全部で10人ぐらいしか入れないスペースなんですね。コロナ禍で始まったので、定員半分ということで5人ぐらいとなると、呼べる人数が少ないということで、もう少し広いところで活動したいなというときに、御所見地区にあります宮原コミュニティかわせみというところが、広いスペースもあり、和室もあり、調理室もあり、外にはお庭やバーベキュースペースなどもありというとてもすてきなところだったので、そこを借りて御所見スマイルカフェが始まりました。

こちらは子ども食堂をやりたいという大人の方がいまして、そういった方の夢もかなえる形を考えて、つくりたい方につくってもらって、私は来た人と話がしたいということで役割分担をして始めるに至っています。

また、午前中は思春期の子育てに関するおしゃべり会としてやるんですが、主に不登

校のお子さんがある保護者の座談会をしています。そのピアサポートのような場でただ話しているだけではなくて、中学校のときに不登校だったけれども、今は大学生になっている方ですとか、校長先生や養護の先生、あとは実際に不登校支援をしている関係者の方々に時々ゲストで来ていただいて、もやもやしていることを直接聞いてみるというようなこともしています。

午後のボードゲームや子育てひろばの遊び場なんですが、こちらはボードゲームで居場所づくりをしている方とコラボレーションして、彼が子どもたちと遊んでいる間に、私はお母さんたちとお話をするという形をとって、そんなふうチームワークで活動をしています。

そういった活動をしている中で、用田にありますココロまち診療所の院長先生より、一緒に何かしませんかというお声がけをいただきました。これで始まったのが用田ひだまりの一むになります。こちらは主に妊婦さんですとか赤ちゃん連れの方から、今は夕方までやっているの、小学生ぐらいまで来てくれたらいいなと思っていて、まだ6月に始まったところなので、それほど実績はないんですけども、民生委員さんからチラシをもらいましたという赤ちゃん連れの方が来てくださったりしております。

そういった形でそれぞれの場所の特徴ですとかやりたいことなどを生かして、子どもと大人の居場所を提供しています。ひだまり一むには保育士のスタッフも入ってくださっているの、夏休みにはここで性教育講座などもしました。親子で来て、子どもたちは保育士さんに遊んでもらって、お母さんたちとも性的話ですとか、子育ての悩みを聞く機会にもなっています。

そういった活動をしている中で今回の協働の事業につながるんですけども、「応募のきっかけ」から、まず申し上げたいと思います。

その1、その2は時系列としてはちょっと逆だったなと思っているので、その2からお話ししますと、長後を始めたあたりから、居場所の始め方、利用の申し込みのほかに、私もこういうことを始めたいんですが、どう始めたらいいんですかという質問をいただくことが多くありました。お一人ずつにお越しいただいて丁寧に説明をしたんですが、なかなか実施に結びつかないという現状がありました。なぜ結びつかないかという、仲間づくりだったり、場所の問題、資金の問題という3つの問題が立ちはだかっていたようです。そんな中、2021年8月より藤沢市の「子ども子育て会議」の市民委員に私になりました。

そこで、藤沢市の子ども共育計画の目標が2つあって、①子どもの自己肯定感をあげる、②子どもの居場所を増やすというものであるということを知りました。そうか、子どもの居場所をふやすということは、市としても応援してもらえることなんだというふうに私は思ったので、その2のほうで、諦めていた方たちともう一度つながって、実際に始めることができる。思いのある方が自己実現をする、夢をかなえる大人を見ることで、またそれが子どもにもいい影響があるんじゃないかなとここはつながったので、ぜひこういった企画ができたならなと思いました。

さらに、市民の家が市内に41カ所あると思いますが、利用率が平たくすると20%程度であることも知りました。利用率の高い低いはそれぞれあると思うんですけども、利用率が少ないところとか、必要があるところ、ほかの子どもの居場所が少なげなところ、その3つを組み合わせて企画したらどうかということの子育て企画課さんにご相談しました。そうしたところ、すごくいいんじゃないんですかということで、応援していただけることになりました。

この活動の「目的」ですが、3つあります。

1つは、いわゆる **How-To** です。子どもの居場所をスタートアップする **How-To** を伝える。

その2としては、先ほど問題に挙げた人と場所と資金の問題、こんな工夫をしているよということを伝える。そして、ただ伝えるだけではなくて、持続可能ということで考えますと、始めた後もつながり続けてアイデアを出し合ったり、協力し合う、支え合うということがとても大切なのではないかと思います、プラットフォームをつくりたいなと思っています。これは私自身が始めたときに、子どもの居場所のことって誰に聞いたらいいんだろうと思ったときに、市の中での大きなつながりみたいなものは特にないように感じたので、これをきっかけにつくれたらいいかなと思っています。

3つ目としては、市民の家の利用率を上げたいということになります。

これがもともとの共育計画の目標の実現、自己肯定感UPだったり、子どもの居場所増につながるのではないかと考えています。

「実施概要」としましては、資料のほうにもありますので紹介は割愛するんですけども、市内4カ所の公民館などでやろうと思っています。これについては、その公民館のある地域で分けましょうということではなくて、市内の方がアクセスしやすい場所というので4つを選んでいきます。

料金も有料にしたのはなぜかという、今回テキストをつくりたいと思っているんですが、それとは別に副読本といたしまして、『13歳から分かる！7つの習慣 自分を変えるレッスン』という1500円程度の図書をつけようと思っていますので、それを買うようなつもりで参加してもらえたらいいかなと思っています。この副読本につきましては、講座の後、自分の開いた居場所で図書として置くこともできるのではないかと、無駄もないのではないかと考えています。

対象としましては、はっきり言って市民の方、関心のある方はどなたでもと思っています。グループで参加してもいいし、1人で参加しても、仲間づくりの場になればいいなと思っています。

「解決したい課題」としましては、先ほども申し上げましたが、まずは子どもの居場所をふやしたい。ふやすことで子どもたちが安心して過ごせるようになる。その姿が大人にとっても安心して過ごせる市になっていくし、大人の夢もかなえたい。そういったことがつながって、社会の課題である今、10代と女性の自死がふえているとか、自己肯定感が低いとかいろいろありますが、そういった孤立を防ぐことができ、そういったものを確実に減らすことができるのではないかと考えています。

「人と人、人と場所をつなぎ夢実現キッカケづくり」をすること、「市民が安心安全に過ごし、活躍できる場を増やすための場を設ける→市民の自己肯定感UPにつながる」のではないかと考えています。

ワークショップについては、1回当たり半年でワンクールで、4回ずつ行おうと思っています。その中で共育計画の対応ですとか、市民の家の利用について、あとは安心安全という意味では保険についてなども伝えようと思っています。

幾つか第一審査のときにいただいた質問についての回答を少し行いたいと思います。

まず、ワークショップの内容については、今回の資料のほうに入っております。ご覧いただけたらと思います。

人手が足りるかということですが、ワークショップについては、対象を1回15名としておりますので問題ないと思います。また、ポイントごとに講師を呼ぶ予定なので、グループワークなどでもその講師がグループに入ってもらえるので、サポートできるのではと思っています。

以上です。よろしくお願いします。

(細沼部会長) 発表が終わりました。

時間をちょっとオーバーしておりますけれども、子育て企画課さんのほうから何かありましたら、一言お願いできればと思います。

(藤沢市子育て企画課) 一言ということなので、短めにお話をさせていただきたいと思います。

先ほど鈴木さんのほうからご説明がありましたとおり、私ども子ども子育て会議という審議会を持っておりまして、その委員として参画していただいている中で、こういうことができないかというご相談をいただきました。

そのときに1つ大きな課題となっているのが、場所の問題があるんですと、そこをどうにか解決したいというところがございましたので、今出た、例えば市民の家なんかどうでしょうというお話であったり、ある程度地元根づいた取り組みができるのであれば、自治会館、町内会館みたいなところにも、協力をすれば気持ちよく貸していただけるんじゃないでしょうかということをお話しして、相談しながらここまで取り組んできたというところがございます。

子どもの居場所というのが、先ほどお話に出ましたが、私どもでつくっている子ども共育計画、主に子どもの貧困対策のための施策をまとめた計画となりますが、そちらの目標値といいますか、指標の1つとして位置づけております。

なぜ、子どもの居場所を計画の指標に位置づけたのかといいますと、いろんな要因がありまして、1つは平成30年に子どもの生活実態調査ということで、市内の5歳児、小学校5年生、中学校2年生の家庭に対するアンケート調査を行いました。50問ぐらいいにわたる結構膨大な調査で、経済状況を含めて大分デリケートな内容の聞き取りをさせていただきました。

その中ですごく特徴的だったのが、とりわけ小学5年生のアンケート結果の自由記入欄の中に、居場所に関する回答というのが約4割ございました。そこはすごく求めるものが多いんだろう。当然市も、例えば放課後児童クラブですとか放課後等デイサービスであるとか、さまざまなサービスは既に提供しているんですけども、ある意味インフォーマルな居場所というところも、ニーズとしてすごく求められているという意識は持っている中での鈴木さんとの出会いであったので、ぜひ一緒にやっていきたいというふうに考えております。

以上です。

(細沼部会長) それでは、委員の方、ご質問ありますでしょうか。西上委員もありました

らチャットでお願いいたしたいと思います。

(入内島委員) ちょっと初歩的なことをお聞きするんですが、ワークショップを4回やられる。これは子育て支援の居場所をつくりたい保護者の方々がそこに集まって、どうすればそういった場所をつくれるかというのをまず勉強する。その場では子どもが集まって何かするというわけではなくて、まずはワークショップでどのように運営するとか、先ほどいろいろノウハウがあるとおっしゃっていましたが、そういったものを教えるという場になっていくんでしょうか。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) そこ自体が子どもの居場所になるわけではなく、子どもの居場所を自分でやってみたいと思っている大人の方に、保護者だけではなく、市民の方どなたでも、学生とかでもいいと思いますし、来ていただいて、そういうノウハウですとか思いとか、支援者のあり方みたいなのところを、ただ、これをやってあげただけだと結構失敗してしまったり、続かないことが多いので、持続可能というところを中心に置いた気持ちの持っていく方みたいなのところをお伝えできたらなと思っています。

(入内島委員) そういった運営主体の裾野が広がれば広がるほど、困っている保護者の方とか子どもたちをキャッチアップしやすいと思うので、ぜひ裾野を広げて活動していただければなと思います。

私も幼稚園に通う子どもが2人おまして、同じ幼稚園のお友達と習い事をしているんです。水泳に行かせたり、最近バレーを習わせたり、トランポリンに行ったりさせている。それで予定が埋まっちゃっていたりするんですね。

逆に、そういうのに行けてない子たちが結構いるのが貧困のところだ。そういうところに行かせたいけど、なかなか行かせられないみたいなのところもあるので、ぜひワークショップを始めて何かされるときは、習い事じゃないんですが、子どもが体験できる場所をつくっていただければなと。これは意見です。

(坂井副委員長) プレゼン、お疲れさまでした。ありがとうございました。

子育て企画課さんもいらっしゃるので、ちょっとお伺いしたいんですけども、きょうのプレゼン資料じゃなくて、事前にいただいている申請資料の中に、「協働する意義・必要性」というところがありまして、「子育て企画課が子どもの居場所の必要性を直接伝えることで」という記載がありましたが、市民の皆さんに直接伝えるという具体的な取り組みの何かお考え方がありますか。

(藤沢市子育て企画課) 子どもの居場所の意義というのをまず一番に伝えていくというよりは、先ほど言った藤沢市の子どもたちの生活実態調査から出てくる子どもの居場所の必要性みたいなところの概略を、まずは入り口として参加者の方に持っていただくことで、今後の取り組みに対する意識の1つになればいいなと思っております。

(坂井副委員長) つまり、ワークショップなりに参加された皆さんに対して、直接そういう話をしますよと。

(藤沢市子育て企画課) おっしゃるとおりでございます。

(坂井副委員長) それから、自己肯定感の向上というのは、1つ目指すべきところだと思いますが、その自己肯定感が上がったかどうかはどうやって評価するのか。

(藤沢市子育て企画課) 普通じゃできないと思っております。ただ、私どもで先ほどお話しした平成30年度に実施した生活実態調査の中で、子どもの自己肯定感というものはかかれるような調査様式にしております。次が令和6年に実施させていただきますので、そのアンケート結果でも把握ができるんだろう。ただ、すぐそこが数値として反映されるかどうかというのはわからないんですけれども、その調査自体は今後も継続して行っていきたいと思っておりますので、一義的にはその中で把握できればというふうに思っております。

(細沼部会長) 私から質問させていただきます。プレゼンお疲れさまでした。

市民の家と、自治会・町内会館ということですが、こちらの確保というのは子育て企画課のほうでしてあげるのか。なかなか確保が難しいんじゃないかなと私自身思っているんですが、そのあたりはいかがでしょうか。

(藤沢市子育て企画課) 第一に、市民の家の活用ができないかということを考えております。その部分は市民自治推進課のほうで担当されておりますので、市民自治の運営委員さんへのつなぎとか、その部分については市民自治推進課のお力をかりてやっていく形で考えています。

先ほど鈴木さんの説明にもありましたけれども、市民の家によって利用状況ですとか、立地に係る課題というのは全く違いますので、そこは実際に受講されて、ここでやりたいというところと、市民の家の立地がだめだったときに、例えば自治会館みたいなものを使えないかというふうに考えておりますので、市民自治との調整であるとか、そこには当然、我々も関与していきたいなというふうには考えております。

(細沼部会長) 今、自治連の会長をしております、自治会、町内会というのは営利目的

を持つ団体には貸し出しをしませんし、自治会によっては、自治会の住民だけしか利用できないというところがほとんどだと思います。

また、空き家に関してどれだけ把握されているのかな。自治会としても把握し切れてない部分もありますので、その辺も、例えば参加して下さった方がここでやりたいと言ったときに、結局、場所が全然確保できなかつたり、地域での協力みたいなものも得られない場合に、せっかくやろうとしていたものがちょっとくじけてしまうみたいな部分はあるかと思うので、その辺はきちんと対応してほしいなというふうには思います。

あと、私、青少年指導員なんですけれども、青少年指導員でいらっしゃるの、関係があつてそういうことなのかと思いますけれども、地域には青少年指導員だけではないので、地域団体にも協力というか、周知は必要だと思うんですね。青少年指導員ということにこだわっていらっしゃるの、そこはちょっと対応を考えられたほうがよろしいんじゃないかなというふうに思うんですけれども。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) まず初めに、市民の家が使えない場合ということなんですけれども、今回、確保を市のほうにお願いしようとは特に思っていないんですね。場所を見つける力を持つということも大切なポイントだと思うので、いらした方には、どんな活動がしたいか、どんなところでやりたいか、そのために市民の家を使いたいんだつたらこういう段取りが必要で、もしかしたらそもそも空いてないかもしれないですとか、ニーズがないかもしれないというお話も必ず入れようと思っています。

あと、もし子ども食堂をやりたい場合、現在、市民の家は飲食ができないので、そもそも市民の家は使えないという形になるんですね。そうすると、自分でどういうふうに見るか。飲食店の休業日に依頼するとか、シェアカフェみたいなところを借りていくか、別の話にはなるんですが、そういった方も含め、子どもの居場所の立ち上げ方というところは話ししたいと思っています。あくまでも自分たちで運営するための方法をお伝えするという形で、場所については考えています。

もう一つの青少年指導員につきましては、青少年指導員に来てほしいということにこだわっているわけではなく、私も青少年指導員をして感じるのは、青少年活動ですとか、子ども子育てというところに関心が高い人が集まっている印象がありまして、その周りにもそういった知り合いの方が多いなというのを感じています。指導員の方に知っていただくことで、そういえば私の友達がこういうことに関心があるというふうに広がって

いったらいいなと思って、青少年指導員にもアプローチできたらと考えています。

また、そのほか「広報ふじさわ」ですとか、いろんな媒体で広くお伝えできたらと思っています、まさに例えば青少協ですとか、三者連携の会ですとか、社協ですとか、そういったところにももちろん、アプローチできたらいいなとは思っているところです。

(細沼部会長) 西上委員から何かコメントが入っていますか。

(事務局) 西上委員からはまだ、今のところいただいているはないですが、何かございましたらチャットをお願いいたします。

(坂井副委員長) もう1点だけ、団体の運営についてお伺いしたいんですが、申請書に団体の収支報告書をつけていただいているんですが、長後と御所見でそれぞれ「借り」というものがあるんですけども、これの返済はどういうふうになるんですか。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) こちらが正しくは寄付になります。レインボースマイル湘南から、れいんぼ〜かふえへの寄付なので、貸し借りではなく、返済してもらおうというものではなく、正しくは資金提供という形になります。

(坂井副委員長) わかりました。ありがとうございました。

(細沼部会長) よろしいでしょうか。それでは、以上で終了となります。

「みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南」、藤沢市子育て企画課の皆さん、ありがとうございました。

団体のプレゼンテーションが終了いたしました。

団体の皆様におかれましては、大変お疲れさまでした。すばらしい発表をありがとうございました。

ここで事務局にお返しいたします。

(事務局) 細沼部会長、ありがとうございました。

採択結果につきましては、先ほど申し上げましたが、後日、郵送にて通知をさせていただきます。

以上をもちまして、本日の公開プレゼンテーションは終了となります。

委員の皆様は、この後、休憩をとっていただきまして、1時50分から、引き続き本会場で審査会を行いますので、よろしくをお願いいたします。

発表団体の皆様、傍聴者の皆様におかれましては、出口にてアンケート用紙をご記入いただいていたらいらっしゃいましたら回収させていただきますので、ご協力いただけました方はご提出の上、

お忘れ物のないようお気をつけてお帰りください。

この後、こちらの会議を使用いたしますので、大変申しわけございませんが、速やかなご退席にご協力をお願いいたします。

本日、朝日町駐車場にお車を止めた方は、駐車券を事務局職員へお渡しください。認証機の処理をいたします。

本日は、ありがとうございました。

(団体退出)

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

午後1時44分 休憩

午後1時52分 再開

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

(2) 審査選考

(藤沢市情報公開条例第6条第3号に基づき非公開)

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

- 協働コース審査選考部会において、協働コースの二次審査（プレゼンテーション審査）通過団体は、「みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南／藤沢市子育て企画課」と決定された。

藤沢市市民活動推進委員会

(坂井副委員長) 皆様、大変お疲れさまでした。ミライカナエル活動サポート事業実施要綱では、本委員会が審査選考を行い、その結果を市長に報告することとなっています。

ただいま審査選考部会において、協働コースの二次審査通過団体を審査選考していただきました。中立公正な立場から、丁寧にご審査いただいた結果だと思っておりますので、この結果を委員会での決定事項とし、市に報告させていただくこととしてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

西上委員も大丈夫でしょうか。

(坂井副委員長) それでは、ご異議なしということで、以上、委員会での決定事項として、ここで市にご報告させていただきます。

それでは、最後に、事務局より連絡事項をお願いします。

(事務局) 審査選考、ありがとうございました。

事務局からの連絡事項の前に、本日、ご同席いただきました協働コーディネーターの堀さんのほうから、感想などございましたら、おっしゃっていただければと思います。
(協働コーディネーター)

審査、ご苦労さまでございました。聞かせていただいて、実はこちらの団体さん、22年度の事業が全額寄付で行われている。皆さんのきょうの資料23ページ、最後になりますが、こちらの団体さんの収入そのものは、全額寄付と助成金で成り立っています。次の年の事業も、市の今回のミライカナエルの助成金で活動していくという形になっていくと思いますので、新たな事業と、これまでやってきた団体さんの事業を並行してやっていくということが、かなりきつい事業になっていくのかなというふうに思っております。今後、市の方と協働、それから私どもも横にしっかりつかせていただいて、サポートさせていただければなということをきょうは強く感じさせていただきました。

(事務局) 本日の結果につきましては、団体のほうへ後日、郵送させていただきます。結果の送付にあわせまして、本日いただきました団体への意見表にご記入いただいた意見も団体のほうに送付させていただきます。

本日の二次審査を通過しました団体は、今後、最終審査として12月10日(土)に予定しておりますヒアリング審査がございますので、部会員の方におかれましては、後日、最終審査のほうもよろしく願いいたします。

次回の委員会ですが、11月26日(土)、午後1時からとなります。詳細につきましてはまた、開催通知などでお知らせさせていただきますので、ご確認くださいませう、よろしく願いいたします。

最後に、本日、朝日町駐車場に車を止めた方は、駐車券を事務局のほうにお渡しくださいませうお願いいたします。

事務局からは以上です。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

閉会

(坂井副委員長) それでは、以上をもちまして第7回藤沢市市民活動推進委員会を閉会いたします。皆様、大変お疲れさまでした。

午後2時25分 閉会